

平成27年度 事業報告

1、事業概要

政府は脱デフレや景気回復に向けた財政支援政策を矢継ぎ早に進めておりますが、地方においてはその兆しを感じられず相変わらず景気が低迷し、我々高齢者を取り巻く環境は、年金の減額や消費税額アップの影響に加え、生活必需品の値上げも続いており、先行きの不透明感が残る厳しい状況が続いています。

こうした中、当シルバー人材センターでは、年々会員の高齢化が進んでおりますが定年制の延長、再雇用制度の導入や年金支給開始時期の延伸などの影響により労働市場から引退した団塊の世代も含め、経済的な理由で高収入を求める傾向が強くなり、新規入会には至らないケースが増えておりセンター運営の基盤となる、会員数の増加や就業機会の拡大には至らず課題の多い年になりました。

平成27年度の当シルバー人材センターの受注金額は前年度と比較して一般・家庭や公共事業においては上回っていますが、企業等において加工場などの稼働日数が春先に発生した爆弾低気圧による大時化の影響でホタテの漁場が壊滅状況となり慢性的な原料不足から大幅に減少し全体の受注金額では8,305千円(7.6%)の減収となりました。

一方、本格的に取り組みを始めた派遣事業では、派遣先6事業所、派遣労働会員25名、派遣契約金額4,456千円の実績となりました。

今後においても、経済情勢や景気動向によってはセンターの事業運営の安定化は厳しい状況が続くものと予想されます。

しかし、会員の皆さんが就業を通じて地域社会に参加し、明るい街づくりに貢献できたことは一般市民を始め企業・団体、行政等のご支援、ご協力の賜と感謝申し上げますとともに会員の真摯な仕事振りが市民に周知、評価されてきたものと思います。ここにご支援、ご協力を頂きました市民・企業・団体そして紋別市をはじめとする行政当局並びに、会員の皆さんにも厚くお礼申し上げます次第であります。

※ 平成27年度の事業実績の概要

○ 登録会員数	168名
○ 受注件数	2,867件
○ 就業実人員	152名
○ 就業延日人員数	20,252名
○ 就業率	90.5%
○ 受注金額	101,366,403円

2、事業実施状況

(1) 就業体制の強化

会員の希望と技能・経験を把握し、センターの理念をもとに公正適正な就業体制の確立と働きやすい環境を推進しながら、多様化するニーズに対応する体制づくりに努めたところであります。

(2) 受注体制の強化

ア、市民、企業、団体、行政にセンターの事業に係る情報を積極的に提供するとともに、会員と役職員による就業開発活動等を通して、受注の拡大に努めたところであります。

イ、今後加入が見込まれる団塊世代が希望する管理系・事務系職種の開拓に向け事務局体制の強化を図りました。

(3) 技能講習会の実施

会員を対象にした刈払機による草刈り講習会、刈払機保守点検整備講習会、冬囲い講習会を実施したところであります。

(4) 安全就業対策の強化

就業中、就業途上の事故防止を図るため、安全就業基準の徹底と会員の健康管理の保持に努め、現場確認や安全委員会委員による現場パトロール等の実施と安全講習会を開催したところであります。

(5) 会員の入会促進

経験、知識、能力を生かし健康で働く意欲のある会員の入会促進を図るため、8月、1月、3月の3回市民会館及びセンター会議室で入会説明会を開催した他、定期的に新聞広告等によるPRの結果

18名の方が新たに会員として入会しました。

(6) 関係機関との連携

センター事業の目的達成のため、全シ協・道シ連・紋別市等との連携を密にして、理解と協力・支援を得ながら円滑な事業運営に努めました。

(7) 広報活動の強化

会員相互の情報と交流を深め連帯感を高めるため「会員だより」と広報誌「シルバーセンターだより」を発行（地域班世話人による配付）したほか、広報活動とセンター事業の普及啓発のために市民向けの啓発用チラシの配布・新聞折り込みを行いました。

また、10月の第3土曜日の「シルバーの日」に役職員が市内の大型店において、リーフレット・ティッシュの配布を行いセンター事業の普及キャンペーンを行いました。

(8) シルバー派遣事業の取組みについて

多様な就業機会の確保のため、役職員が一丸となり派遣事業の拡大に向け、新規の就労開拓に努めました。

(9) 社会奉仕活動

紋別市が主管して取組んでいる「美しいまちもんべつ美化サポート」事業に地域班単位で年3回参加し、清掃作業を行いました。

(10) 事務局体制の強化

事務局職員が各種講習会、研修会に出席し事務処理等に必要な知識、技能の研鑽習得に努めました。